



対話を通して学びを深められる千鳥っ子に

本校では今年度、教職員研修のテーマ（子供たちをどのように育てていくか）として

「主体的・対話的に学ぶ子の育成 ～対話を通して学びを深められる子～」

を掲げ、日々の授業改善に取り組んでおります。

このテーマを設定した背景には、子供たちがこれからの社会を生きていく上で必要とされる「思考力」「判断力」「表現力」などの資質・能力を、学校教育の中でどのように育てていくかという課題があります。社会の変化が激しく、正解のない問いに向き合うことが求められる今、子供たちには「自ら考え、他者と協働しながら、よりよい答えを導き出す力」が必要です。その力を育てるために、私たちは「対話」に注目しました。

◎なぜ「対話」が必要なのか

「対話」とは、単に話し合うことではありません。自分の考えを言葉にして伝えること、相手の意見を受け止めて考え直すこと、そして互いの考えをつなぎ合わせて新たな気づきを得ること。こうしたプロセスを通して、子供たちは学びを深めていきます。

対話を通じて得られる学びには、次のような価値があります。

- 自分の考えを整理し、根拠をもって説明する力が育つ
- 他者の視点に触れることで、多様な考え方を受け入れる姿勢が育つ
- 他者と協働して課題を解決する力が身につく

これらの力は、学力の向上だけでなく、将来社会で活躍するための「生きる力」にもつながると考えています。

◎どのような授業を目指すのか

この研修テーマをもとに、私たちは次のような授業づくりを進めています。

- **子ども同士が意見を交わす時間を大切にせる授業**
互いの考えを聞き合い、違いを認めながら新たな気づきを得る場を大切にします。
- **問いを中心に据えた探究的な学び**
「なぜ?」「どうして?」という問いを出発点に、調べたり話し合ったりしながら学びを深めます。
- **自分の考えを根拠とともに説明する力を育てる授業**
自分の考えを論理的に伝える力を育てることで、思考力や表現力の向上を図ります。

これらの授業を通して、子供たちが「学ぶことの楽しさ」や「他者と学び合うことの価値」を実感できるよう、教職員一同、日々研修と実践を重ねています。

今後の授業参観や学校行事などを通して、子供たちの成長の様子をご覧いただければ幸いです。

研修担当

裏面もご確認ください。学年だよりの発行はありません。学校だよりに統一しています。